

中野剛志 戦略編

経済学者・官僚がこっそり読んだ『奇跡の経済教室』待望の第2弾。政治家に読ませたい本 No.1！世界で起きている変化、日本がとるべき戦略が面白いほど見えてくる！全米騒然・日本上陸の MMT（現代貨幣理論）がよく分かる特別付録つき

第1章 基礎知識のまとめ

日本経済の長期停滞

「合成の誤謬」

デフレ対策とインフレ対策

貨幣についての正しい理解（現代貨幣理論）

財政に関する正しい理解（機能的財政論）

財政赤字は削減できるか

グローバリゼーションの真実

主流派経済学の非現実性

第2章 二つの成長戦略

「アメ型」成長戦略

制約こそが成長の源泉

「ムチ型」成長戦略

「ムチ型」では成長できない

第3章 「ムチ型」成長戦略の帰結

アメリカの「ムチ型」成長戦略

日本の「ムチ型」成長戦略

「女性の活躍」「人生百年時代」そして「外国人材」

平成の改革の評価

第4章 富を増やす二つのやり方

デフレで得をする人々

「ポジティブ・サム」と「ゼロ・サム」

規制緩和の虚実

第5章 レント・シーキング活動

失敗に終わったPFI

沼のワニ

ルサンチマン

既得権益

アメリカの金融業界によるレント・シーキング活動

レント・シーキング活動の疑い

日本人であることも既得権益

第6章 大失敗した行政改革

なぜ行政はレント・シーキング活動を放置しているのか

官僚主導という誤解

調整型官僚と族議員

「改革派」官僚の登場

「改革派」官僚が考えた内閣人事局

レント・シーキング活動と行政改革

第7章 諸悪の根源

税制とレント・シーキング活動

財政健全化が招くレント・シーキング活動

財政健全化から移民政策へ

第8章 エリートたちの勘違い

元大物次官の述懐

自己実現的予言

国民の品格？

財政を精神論で語ることの危険性

財政赤字と民主政治

民主政治とインフレ

財政規律？

エリート意識の倒錯

第9章 なぜエリートたちは考え方を換えられないのか

認識共同体

財務省の認識共同体

グローバルな認識共同体

回転ドアと認識共同体

留学と認識共同体

排除の論理

第10章 なぜ保守派は、新自由主義が好きなのか

保守派と新自由主義

インフレ=民主主義の過剰

平成の保守派

第11章 なぜリベラル派は嫌われるのか

リベラル派の変質

不毛な選択肢

枝野幸男氏の大演説

第12章 世界を読み解く新たな座標軸

イデオロギーの四元構造

トランプ大統領の登場

英仏の混乱

ポピュリズム

第13章 滅びゆく民主主義

グローバル

内容説明

経済学者・官僚がこっそり読んだ『奇跡の経済教室』待望の第2弾。世界で起きている変化、日本がとるべき戦略が面白いほど見えてくる！全米騒然・日本上陸のMMT（現代貨幣理論）がよく分かる特別付録つき。

目次

基礎知識のまとめ

二つの成長戦略

「ムチ型」成長戦略の帰結

富を増やす二つのやり方

レント・シーキング活動

大失敗した行政改革

諸悪の根源

エリートたちの勘違い

なぜエリートたちは考え方を換えられないのか

なぜ保守派は、新自由主義が好きなのか

なぜリベラル派は嫌われるのか

世界を読み解く新たな座標軸

滅びゆく民主主義

歴史の大問題

著者等紹介

中野剛志 [ナカノタケン]

1971年、神奈川県生まれ。評論家。元京都大学大学院工学研究科准教授。専門は政治思想。96年、東京大学教養学部（国際関係論）卒業後、通商産業省（現・経済産業省）に入省。2000年よりエディンバラ大学大学院に留学し、政治思想を専攻。01年に同大学院にて優等修士号、05年に博士号を取得。論文“*Theorising Economic Nationalism*” (*Nations and Nationalism*) で *Nations and Nationalism Prize* を受賞。主な著書に『日本思想史新論』（ちくま新書、山本七平賞奨励賞受賞）など（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

※書籍に掲載されている著者及び編者、訳者、監修者、イラストレーターなどの紹介情報です。